

平成29年度協働事業報告会（28年度事業実施分） 質疑応答

「観光案内図作成事業」（市民活動団体提案協働事業）

（鎌倉・文化の森 / 観光商工課）

Q 担当課の仕事は、印刷して配布するだけで実際の作業は市民がやるとしか受け取れなかった。

具体的に行政と市民がどのように協働したか説明していただきたい。

A（団体）こちらでたたき台を出し、市と意見を出し合った。ある程度出来た時に不整合な箇所があり、それを修正する。全体として月に1、2度集まり意見を出し合い、修正案を出し意見を交わした。

Q 市民のニーズを把握し欲しい情報を入れ更に配布した後にフォローアップもしている。市民の目線で出来ているもので、市民に近い成果物の見本のようなものだと感じた。ただし、問題は財源であると思う。企業広告がなく、今後鎌倉全域に増やしていく時にどのように財源を確保するのか。

A（団体）印刷に費用がかかった。江ノ電さんが反応してくださったので、裏に江ノ電のイラストを入れ、江ノ電やモノレールから印刷代くらいは出してもらえないかと考えている。

Q 今回のゴールデンウィークの乗降客数はどのくらい増えたか減ったか。待ち時間はどうだったか。

A（担当課・所属部）江ノ電の待ち時間は例年2時間待ちが今年は最高で1時間だった。実際周って見たが長谷は人が途切れず歩いている。相当な数の方が歩いて観光していたと思われる。マップの効果は非常に大きかったと思う。今回の協働事業としてはそれぞれの特性を引き出した新しい事例なのかと思っている。

Q 市民の声は聞いたか。

A（団体）観光客を対象とした。